

令和 2 年 度

入 学 試 験 問 題

学校法人 明星学園

浦和学院専門学校

看護学科

国 語

(一般入試 Ⅲ期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 受験票は机の上に表示された受験番号の横におくこと。
- 2 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 3 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 4 下敷の使用は禁止する。
- 5 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 6 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「たくみな」という言葉があります。「たくみ」というのはよい言葉なのです。A、三省堂の大辞林(第二版)を引くと、最初にでてくるのは、「飛驒の匠」というように①メイ匠という意味です。それから、「美しいものをつくりだすわざ」あるいは「考えをめぐらして見つけた方法、工夫」というような意味をもつのが「たくみ」です。「手際よくすぐれているさま」を言う言葉です。すなわち手を用いて優れている。上手で見事なのが「たくみ」です。

そのよい言葉である「たくみ」が、a「手」ではなく、「言葉」にむすびつくと、「一転、よくない言葉になってしまいます。(a)人が人を騙す事件があるとき、きまって使われる「言葉たくみに」という表現があります。言葉たくみにおびきだす、誘いだす、売りつける、騙す。口がうまいから、言葉でならどうとも言えるまで。言葉ということでは、「たくみ」はよくないのです。何故、言葉については「たくみ」であることが信じられないか。

(b)ところが、言葉に対して、わたしたちの社会は、むしろ言葉というのは信じるに足らないという方向を向いてきて、言葉を上手に使うという態度を育てるといふ方向には向かわなかった。言葉を簡単には信じないというのは、信じていい一つの態度です。健全な②カイ疑的精神は、そうした態度なしに深められません。

B、言葉を信じないということをさんざんにやってきた結果、言葉を上手に使うということを、しないのでなく、できなくなってしまっているのではないか。(c)少しのヴォキャブラリーしかもたなくなってきた、かわい、むかつく、すげえ、うざい、といったように、僅かな言葉だけで精一杯自分を表し、伝えるというふうになっています。(d)

社会は豊かになったが、言葉はむしろ貧しくなった。言葉の貧しさを生むもの、そして言葉の貧しさが生むものは、必要な1の欠落です。わたしたちのヴォキャブラリーには、自分という言葉はあっても、他分という言葉がない。あるのは、他人という、自分とは切れている存在を表す言葉です。C、自分とおなじである他人を表す言葉が、友だちであり、仲間です。他人とは、言葉が通じない。友だちとは、言葉なんか必要としない。(e)

b そういう方から生まれているのが、今日の独白社会です。独白はモノログ、独り言のことです。豊かな社会、文明技術がわたしたちにもたらしたのは、「独りである」というあり方です。わたしたちの社会は、「独りである」というあり方をどんどん日常につくりだしてきた社会です。一緒にそこにいる、独りである。高齢化。少子化。引きこもり、オタク。ホームレス。独身。③リ別。いずれも「独りである」社会の表情です。

「なじみ」「いつもの」がなくなった街。言葉が人と人を繋ぐなくなっている例が、コンビニやファストフードをはじめとする店のあり方。そして、メールやネットです。メールやネットがもたらしたのは、独白のコミュニケーションです。

独白の言葉はいわば一方通行の言葉。c 他人の人にとっては向こうから一方的にやってくる言葉。マニユアルの言葉はそうした独白の言葉の一種です。

しかし言葉というのは、表された言葉と表せない言葉でできています。D、表せない言葉に大きく深い意味がある。「④万カンの胸にせまる」。「言葉にならない」。「何と云っていいかわからない」。「無用の用」。あるいは、挨拶の言葉には、「どちらまで」「そこまで」というような、何の役にも立たないけれども、大切な言葉があります。

空談、清談、閑談を楽しむ能力。必要な他者をつくりだしてきたのは、d そうした言葉によって伝えられてきたころの持ちようだったはずです。

むかし「独白」にたいして、「複白」の必要ということが説かれたことがあります。「独白」がモ

ノログなら、「複白」はダイアログのこと(『知恵の悲しみの時代』みすず書房、参照)。「複白」というのは、いい言葉だと思う。今日もつとも回復されなければならないのは、「複白」という相手のあるコミュニケーションではないでしょうか。尋ねられなければならないのは、言葉を信じられるものにするという言葉のあり方です。

長田 弘『なつかしい時間』

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① メイ匠〔解答番号は1〕
- a 国際連メイについて勉強した。
 - b メイ土の土産。
 - c メイ場面ばかりを集めた。
 - d メイ宮入りした事件に挑んだ。
 - e きちんとメイ示する必要がある。
- ② カイ疑的〔解答番号は2〕
- a 問のカイを求めた。
 - b カイ中電灯が役に立った。
 - c カイ装工事中のため使えなかった。
 - d 出入口を破カイして脱出する必要がある。
 - e カイ願録をまとめた。
- ③ リ別〔解答番号は3〕
- a リ便性を重視したい。
 - b リ由を話してもらいたい。
 - c 悪疫にリ患してしまった。
 - d 表リ一体の関係。
 - e ついに一家リ散となってしまった。
- ④ 万カン〔解答番号は4〕
- a 価値カンの違いが生じた。
 - b 無事カン曆を迎えた。
 - c 人々はカン声を上げた。
 - d 子供の成長はカン慨深いものがある。
 - e 芸術をカン賞する。

問二 空欄A～Dを埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は一度しか使えません。「Aは解答番号は5、Bは解答番号は6、Cは解答番号は7、Dは解答番号は8」

- a そして b たとえば c しかし d したがって e 反対に

問三 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を(a)～(e)の番号で答えなさい。【解答番号は9】

「言葉というのは、本来は、もつともコミュニケーションのかなめをなすべきものだったはず
です。く

問四 傍線部a「手」ではなく、「言葉」にむすびつくと、一転、よくない言葉になってしまいま
す」とあるが、それはなぜか。最もあてはまるものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答
番号は10】

- a 社会全体が、「言葉を簡単には信じない」という態度をとってきたから。
b 単語は「言葉」という単語と結びつくと、良くないイメージを生む言葉に変わるものだから。
c 「匠」という言葉はもともと「手」と縁の深い単語で、「言葉」とは相性が悪いから。
d 「匠」という言葉は結びつく単語によって意味を変える特殊な言葉だから。
e 社会全体が、言葉を上手に使うという態度を育ててこなかったため、疑心暗鬼になっているか
ら。

問五 傍線部b「そういうあり方」とはどういう意味か。あてはまらないものを次の中から選び、
記号で答えなさい。【解答番号は11】

- a 友だちとは、言葉が必要としないのだとするあり方。
b 他人とは、言葉が通じないのでとするあり方。
c 言葉を信じないというあり方。
d 言葉を上手に使うというあり方。
e 「独りである」というあり方。

問六 傍線部c。「他の人にとっては向こうから一方的にやってくる言葉」について、あてはまらないものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は12】

- a 一つ調べたら多くの情報を与えてくれるインターネットサイト。
- b 決められたマニュアルにそって丁寧に接客する店員。
- c 自分の近況などを写真や文章で発信するSNS。
- d 昼夜時間を問わずかつ迅速に連絡事項を伝達できるメール。
- e 常連の客の好みや注文を把握している店主と客の会話。

問七 傍線部d。「そうした言葉」とは何を指すか。あてはまらないものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は13】

- a 趣味・芸術・学問にまつわる高尚な話。
- b 相手が最も知りたい内容だけを伝える言葉。
- c 気楽にのんびりと交わすたわいもない言葉。
- d とりとめのない無駄な話。
- e 本筋とは関係ない雑談。

問八 空欄1にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は14】

- a 自分
- b 身内
- c 他者
- d 言語
- e 単語

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。〔解答番号は15〕

- a 言葉とは信じるに足りないものだという考え方は、言葉を上手に育てることを妨げるので、やめたほうが良い。
- b 相手のあるコミュニケーションは「複白」をもたらし、豊かな社会と文明をもたらしてくれる。
- c 言葉を簡単に信じすぎると物事を疑わずに何でも鵜呑みにしてしまう態度を育てるため、良くない。
- d 言葉は人との意思疎通をはかるうえで大切だが、現代ではなくても支障がないため、積極的に言葉を用いる必要性はない。
- e 「独白」は他者とのコミュニケーションを生まなくなるため、「複白」のみを普及させ、「独白」は廃止すべきである。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 漸減〔解答番号は16〕 ② 離礁〔解答番号は17〕
 - ③ 模擬〔解答番号は18〕 ④ 献杯〔解答番号は19〕
 - ⑤ 遭難〔解答番号は20〕 ⑥ 栄辱〔解答番号は21〕
 - ⑦ 嫌悪〔解答番号は22〕 ⑧ 扶助〔解答番号は23〕
 - ⑨ 悠久〔解答番号は24〕 ⑩ 隠頭〔解答番号は25〕
- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。
 - b 反対または対応の意味の漢字を重ねたもの。
 - c 上の字が下の字を修飾しているもの。
 - d 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。
 - e 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 下落〔解答番号は26〕 ② 美談〔解答番号は27〕
- ③ 疎遠〔解答番号は28〕 ④ 威圧〔解答番号は29〕
- ⑤ 粗略〔解答番号は30〕

- a 懇意 b 騰貴 c 醜聞 d 懐柔 e 丁寧

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 降格【解答番号は31】 ② 操業【解答番号は32】

③ 進言【解答番号は33】 ④ 豊富【解答番号は34】

⑤ 固執【解答番号は35】

a 潤沢 b 墨守 c 具申 d 稼働 e 左遷

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 茫□自失【解答番号は36】 ② □根清浄【解答番号は37】

③ 不□不党【解答番号は38】 ④ 同工□曲【解答番号は39】

⑤ 八□六臂【解答番号40】

① a 前 b 禅 c 然 d 全 e 漸
② a 二 b 四 c 六 d 八 e 十
③ a 辺 b 変 c 編 d 篇 e 偏
④ a 位 b 意 c 以 d 威 e 異
⑤ a 回 b 面 c 層 d 立 e 双

六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 光陰□の如し【解答番号は41】

② □湧き肉躍る【解答番号は42】

③ □上の空論【解答番号は43】

④ 春眠□を覚えず【解答番号は44】

⑤ 好事□多し【解答番号は45】

① a 音 b 陰 c 矢 d 失 e 星
② a 骨 b 血 c 泉 d 水 e 人
③ a 空 b 水 c 紙 d 本 e 机
④ a 暁 b 堯 c 経 d 業 e 学
⑤ a 魔 b 真 c 摩 d 麻 e 磨

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

- ① そろそろ起きないと遅刻してしまう。〔解答番号は46〕
② ペンギンは空を飛べない鳥だと言われている。〔解答番号は47〕
③ 彼女はプレゼントをもらってとても喜んでいた。〔解答番号は48〕
④ 次からは早く来ます。〔解答番号は49〕
⑤ 歩くことは身体にいいと言われている。〔解答番号は50〕

- a 未然形
b 連用形
c 終止形
d 連体形
e 仮定形